

各国の防衛関係者が一堂に会する防衛専門展示会 世界がドローン対策に熱視線

展示会概要

世界の防衛関係の専門家が一堂にご来場。
例年以上に注目を集めた当社ソリューションをご紹介します。



東芝グループは2023年3月15日(水)～17日(金)、幕張メッセで開催された日本最大の防衛・セキュリティ総合展示会「DSEI JAPAN 2023」に出展し、3日間で1,300名を超えるご来場者の方々にご覧いただきました。

緊迫感の高まる世界情勢の中、ドローンによるテロや攻撃等のリスクへの対策として、防衛・セキュリティ分野においても、カウンタードローンの必要性が益々叫ばれています。今回の展示会では、悪意を持ったドローンによる攻撃から、私たちの暮らしの安心・安全を守るためのソリューション「対ドローン セキュリティシステム」を展示し、ご来場者の方々に当社ソリューションの有用性についてご説明いたしました。

対ドローン セキュリティシステムの将来的なインテグレーションを見据えた、統合監視制御端末のデモンストレーション画面を展示。

日本国内では、レベル4 飛行解禁による都市部におけるドローンの荷物配送、人口密集地での空撮、災害時の救助活動など、ドローン活用分野の拡大が期待されています。

一方で、安全性の確保についても懸念は広がっており、ご来場の方々から今まで以上に多岐にわたる質問・コメントをいただきました。

特に、将来的なシステムインテグレーションを見据えた、統合監視制御端末(C2)のデモンストレーション画面に注目が集まり、来場者の方々と、具体的な脅威や運用シーンを想定した様々な議論を実施することができました。



可搬型の沿岸レーダ装置と航空機搭載探索用レーダを同時出展。

その他、今回の展示会では、東南アジアなど複雑な国境線を有する諸国から注目を集めている可搬型の沿岸レーダ装置と航空機搭載探索用レーダを出展。

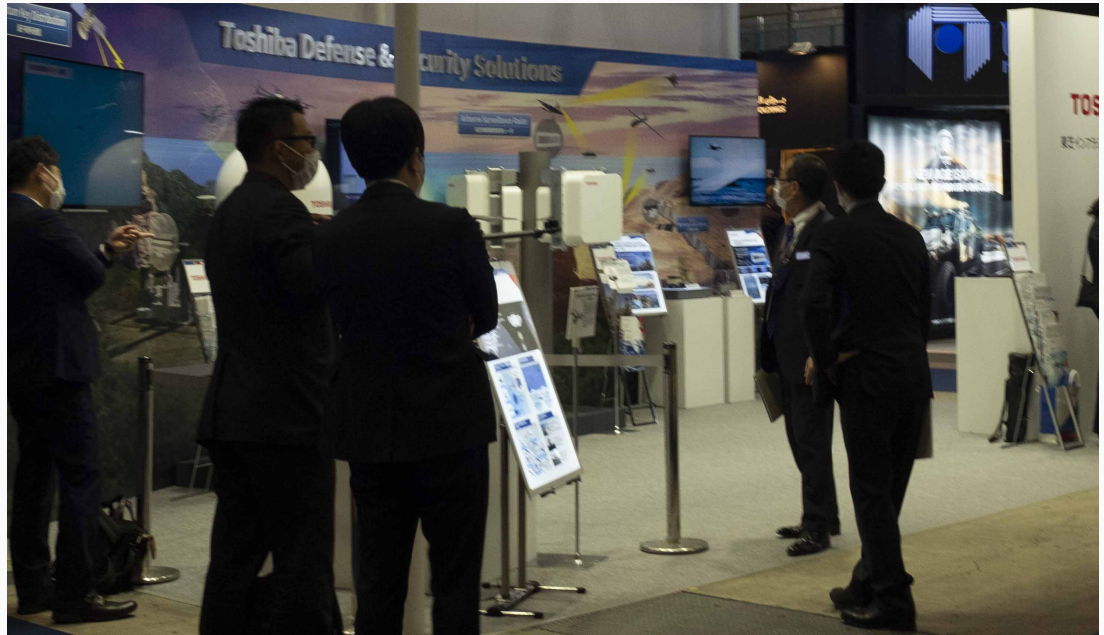
車両・航空機に積載して目的地まで移動し、対象となる場所や地域で低空目標や海上目標を同時に監視することができる製品特長をご紹介いたしました。

独自の信号処理により、探知精度を高めた当社のレーダ応用技術について、運用例と共にご覧いただきました。

日本国内だけではなく、世界からの注目を実感。

様々な分野のご来場者から多岐にわたるドローン対策の課題をお聞きし、業界を問わずドローン対策を重要視されていることが垣間見え、ここ数年で起きている業界全体の変化を今まで以上に実感しました。

今後も国内のみならず、当社ソリューションの有用性を実感頂けるようなイベント・展示会でのご紹介を行う予定です。進化を続ける当社技術・ソリューションにご期待ください。



詳細情報



展示会	DSEI JAPAN 2023
会期	2023年3月15日(水)-17日(金)
会場	幕張メッセ

今後も展示会やイベントなどに出席し、東芝の対ドローン セキュリティシステムをご紹介させていただく予定です。今後の出展、イベント、デモンストレーションなどの情報をお知りになりたい場合は、メールマガジンで随時お知らせする予定ですので、ご登録をお願いいたします。そのほかソリューションの詳細を詳しく知りたい場合は、資料ダウンロードもしくは当社までお問い合わせください。

資料ダウンロード

お問い合わせ

[イベントレポートTOPに戻る](#)